

News!

ドローンによるリモートセンシングで実演会

水稻生育の「見える化」による収量アップと営農指導強化を期待

兵庫県本部



リモートセンシング用のドローン

兵庫県本部は、JA丹波ひかみ・県関係者と連携し、「水稻の収量アップ」「生育状況の見える化」「営農指導での活用」を目的にドローンによるリモートセンシングの実証試験を行っています。上空からドローンで対象の圃場を撮影しデータを解析することでNDVI（生育状況）マップや植被率（植物の茂り具合）マップの情報が得られ、生育状況を見るのが可能となり穂肥散布の判断材料として活用しました。

実演会では、実証試験の報告とセンシング用ドロー

兵庫県本部は8月4日、丹波市で県下JAと関係者を対象にドローン（小型無人飛行機）によるリモートセンシングの実演会を開きました。



ドローンによるリモートセンシングの説明を聞く関係者

ンのデモ飛行と農薬散布用ドローンのデモ飛行を行いました。参加者からは「購入（利用）を検討したい」という声も聞かれました。今後、JAや関係機関と連携しながら、県本部一体となり、ドローンの普及を進めていきます。

News!

福島牛クラウドファンディング実施中

「フレフレふくしま応援団#プロジェクトF ~あなたに届け福島牛~」立ち上げ

福島県本部



多くの人でにぎわった福島牛特別販売フェア（左）と返礼品の福島牛サーロインステーキやカルビなど、魅力ある全8コースをアピールする菅野孝志五連会長他プロジェクトメンバー

福島県本部はJAグループ福島肉牛振興協議会と共同で、福島牛のクラウドファンディング「フレフレふくしま応援団#プロジェクトF ~あなたに届け福島牛~」を立ち上げました。コロナ禍の影響で行き場を失った福島牛を食べて生産者を応援してもらつことを目的に、返礼品に福島牛のサーロインステーキやカルビなど、魅力ある全8コースを用意しています。

福島県のブランド牛「福島牛」を取り巻く環境は、東日本大震災以降、大変厳しい状況が続いています。このような中、コロナ禍の影響で肉牛相場が大幅に下落。回復には時間がかかり、福

島県の畜産生産業の基盤を揺るがしかねないと危惧されています。

今回の返礼品の目玉であった「福島牛まるごと1頭」は、県内でスーパーマーケット事業を手掛ける株式会社いかに支援いただき、8月8～10日に福島牛特別販売フェアを開催。福島牛応援団長のお笑い芸人・なすびさんにも応援に来ていただき、販売しました。

8月27日現在のサポートは1600人を超え、支援金額も1500万円超となりました。残り1カ月弱、目標金額の2000万円達成に皆さまのご支援をお願いいたします。

「フレフレふくしま応援団#プロジェクトF ~あなたに届け福島牛~」は、こちらから





お手軽レシピで時短調理の『大分野菜で「4コマ」レシピ』

新たな食べ方提案で県産野菜の消費拡大を目指す

大分県本部

新たな食べ方提案で県産野菜の消費拡大を目指す「大分野菜で「4コマ」レシピ」



大分県本部は、コロナ禍の影響で家庭内消費が増加している中、「お手軽レシピ」で時短調理をコンセプトに『大分野菜で「4コマ」レシピ』を発行し、新たな食べ方を提案することで県産野菜の消費拡大を目指します。

「県産野菜でお手軽レシピ」をコンセプトに制作した『大分野菜で「4コマ」レシピ』は、調理工程を4コマにまとめることで、人気の時短調理に対応しています。大分県は夏秋野菜の産地のため、旬を迎えたピーマン、トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、ゴーヤーの6品目を選びました。消費者が手に取りやすい明るくポップなデザインを採用し、内容も定番レシピに偏らないよう、プロの料理研究家にレシピを考案してもらいました。

制作に携わった園芸販売課の松川稔彦職員は、「コロナ禍の影響で家庭内消費が増えているので、献立を考えるうえで参考になればと思います、『時短』をテーマに制作しました。4コマレシピを通じて県産夏秋野菜をより身近に感じてもらいたい」と話します。



「みのりみのるマルシェ at 広島駅」再開

駅で旬の野菜を提供

広島県本部

再開した「みのりみのるマルシェ at 広島駅」で商品を手取る来場客



広島県本部とJR西日本は、新型コロナウイルス感染防止のため、開催を見送っていた「みのりみのるマルシェ at 広島駅」を7月から再開し、感染拡大防止の措置を行いながら毎月2回開催しています。

マルシェには「とれたて元気市広島店」が outlet として、県産野菜や果物、加工品など約2000点を販売しています。8月は、夏野菜の代表であるトマトやナス、ピーマンに加え、「ピーオーネ」などの果物も並びました。

「みのりみのるマルシェ at 広島駅」は、全農とJR西日本が平成28年2月に締結した「地域振興支援に関する協定書」に基づき、平成30年10月からスタートしました。今後は、毎月第1・第3金曜日、午前11時から午後3時までの開催予定で、季節の旬の野菜や果物が会場を彩ります。

全農の戸井COと営業開発部の若手職員が座談会

JAGグループの「強み」を生かした商品開発へ

一般社団法人家の光協会の月刊誌『家の光』10月号(9月1日発行)にて、「JAGグループの強みを生かした『全農の商品開発』」をテーマに戸井和久チーフオフィサー(CO)と営業開発部の若手職員が座談会形式で、全農の商品開発について語りました。今回、『家の光』10月号では紹介しきれなかった取り組みを紹介します。

【営業開発部】

With/Afterコロナ時代に全農が目指す姿とは

戸井和久CO 新型コロナウィルス禍は、2011年の東日本大震災とは違い、商品の需要の想定が難しくなりました。巣ごもり消費のなかでは、量販店のバイヤーに聞くだけでなく、消費者により近くなれば、消費者が必要とする商品の開発ができない状況になったということ。今回の一番のポイントはEコマースで、自宅へ直接商品を提供する流れが注目されました。現在のECマーケットにおける食品のEコマース率は非常に低いです。今後は宅配ビジネスを含め

食品のウエートが上がることで想定されます。そうすると産地から消費地までの基幹物流も含めた物流も戦略戦略として考える必要があり、ここにも商品開発の突破口があるように思います。

また、小売りがEコマースに、外食がデリバリーに参入するなど業態間のボーダレス化が進



戸井和久チーフオフィサー

みました。画一的な商品づくりよりも、エリアや実需者を限定するものづくりを進める必要があると感じます。この先もインバウンドの低下、また海外との食料争奪戦と新たな課題が出てくると思います。全農は、「食のトップブランド」としての地位確立を目指すため、さまざまなプロジェクトを立ち上げてきました。今後も農家を大事にし、なおかつ再生産価格を維持してくれるような企業と組むことを目指し、生産振興と農家所得の増大、それと、実需者とのコミュニケーションによるJAの商品ブランドの定着を目指しています。

他企業とのコラボ商品を続々と発売

山田晋也さん 他企業とのコラボレーション商品として、2018年からファミリーマーケットと国産果実を使用したドライフルーツを継続して発売されています。国産の原料は量が限られているため、通年商品では



『家の光』10月号



全農の商品開発について語り合う戸井チーフオフィサー(右から2人目)と営業開発部若手職員



営業開発部の山田さん

なく、旬の時期にファミリーマート限定商品を発売しています。また、ファミリーマート限定で、UHA味覚糖とのダブルブランドで「コロロ」というグミを期間・数量限定で販売しています。ファミリーマート側から「メロン」などの品目ではなく、品種やブランド名までこだわった商品が欲しいとの要望があり、1万6000店ある店舗に対応する原料をどう調達するかが難しい点でした。特別な果物となると取れる数量も限られる中、いかにJAと協力しながらマッチングさせるかが大変でもあり、やりがいでもあります。この「コロロ」は第2弾の「鶴姫レッド」、第3弾の「ハニーローザ」に続き、今後ほとんど企画していきます。



「コッポンエール」シリーズのドライフルーツ



営業開発部の奥野さん(右)と加藤さん

「コッポンエール」ブランドの役割

全農では2020年1月に全農のブランドとして「コッポンエール」を商標登録し、現在はセミドライタイプのドライフルーツなどを販売しています。ドライフルーツは水分を飛ばすため、一定量の原料確保が必要です。また店舗における面の陳列には複数の種類が求められます。今は柑橘類が中心ですが、今後キウイやイチゴなどバリエーションを増やすため、産地とも相談しながら原料の確保に日々奮闘しています。また、100円ショップのダ

イソーでも菓子類を中心に販売しています。「日向夏」は東日本では果物の流通が少なく、あまりなじみのない果物なので、ラインアップに加える時どうだろうと思いつながらキャンディーやグミとして販売したところ、ダントツで売れています。お菓子の原料として「日向夏」の知名度が上がっていくことは、生産者の方からうれしいとの声もあり、今後もお菓子に限らずいろいろな商品開発に着手していきたいと考えています。

原料用プロッコリーの生産振興

加藤智揚さん 現在、セブインレブンジャパンともコラボ商品として、国産プロッコリーを使用したサラダやサンドイッチを販売しています。プロッコリーは品質管理が難しい作物のため、総菜や外食では冷凍品や輸入品が多い状況です。

コンビニエンスストアという新たな販路に向けて、サラダ原料用への国産プロッコリーの供給に取り組みましたが、加工に適した規格での安定供給や、生産や加工における作業の効率化が課題でした。

そこで、花蕾の大きいプロッコ

コリーを安定的に出荷するため、試験栽培により大玉でかつ花が咲きづらい品種を選定しました。このことで収穫時の手間の削減と収量増につながり、加工面での作業効率も上がりました。生産側、加工・販売側のニーズをマッチさせることができました。

また、お菓子などは目にする機会が増えていますが、生鮮の原料を使用した商品を全国各地にあるセブインレブンと商品をつくることで、実際に出来上がった商品を自分で見て、食べられるということは、生産者の皆さんに喜んでいただけているのではないかと考えています。

ただ、安定的に原料を確保するには、各県、JAの皆さん、そして園芸担当の方だけではなく、TACや農業担当者、種苗会社など、各ジャンルの専門家と一緒に取り組んでいく必要があります。これからの毎年勉強しながら、生産振興につながる商品を作っていきます。

メンバーとの情報共有と課題解決に実践していること

奥野達弘さん クラウド上で、お互いの情報を交換できる仕組みを部内で作っています。これまで報告書は、紙で共有して

ましたが、必要なときにすぐに見つけられなかったりしました。関連づいていなかったことを、システムを活用しながらお互いに発見し共有することで、新しいアイデアの創出につながります。フリーアドレスのオフィスでは、隣に座る人が毎日違うので、そこでの簡単な情報交換から拾える情報というのがすごくあります。また、ペーパーレス化は自然に進みましたね。お互いの顔がしっかりと見えるところでコミュニケーションはすごくとりやすいです。



営業開発部のメンバー

スマイルチャージいわてプロジェクト

最終審査会を実施



FES'AN × STUDENT
スマイルチャージいわてプロジェクト

岩手県本部は、岩手県立大学と「盛岡駅ビルフェザン」が2015年度から取り組む学生協働プロジェクト「FES'AN × STUDENT スマイルチャージいわてプロジェクト」に参加しています。9月1日、滝沢市の岩手県立大学講堂で最終審査会が行われました。【岩手県本部】

岩手県本部は今年5月から、同大学総合政策学部の3年生に対し、岩手県の農業情勢や抱える課題などについて講義・情報提供を実践しています。県本部として学生にアプローチしてもらいたい課題を提示し、同大学・フェザンと連携を図り、学生のアイデア抽出・企画の具現化をサポートしています。

今年は、多種多様な農畜産物が育まれる「いわての農業」において、「原木乾しいたけ」と「県産花き(りんどう)」の課題解決を目指し、学生にアイデアを出し合ってもらいました。

学生がアプローチする課題

「いわての農業を5T※でスマイルに」

※5Tとは…つくる/つたえる/とどける/つながる/つづける

1 原木乾しいたけ

原木乾しいたけの「購入(消費)機会」を上げるための新しい展開方法を考えよう

2 岩手県産花き(りんどう)

「りんどうおうちフラワー」を通じて、岩手にお花との新しい生活様式を根付かせたい!



スマイルチャージいわてプロジェクト最終審査会の様子と参加した岩手県立大学生



りんどう最優秀賞



乾しいたけ最優秀賞

AgVenture Lab(通称:「あぐラボ」)審査会へ参加

最終審査会では、あぐラボ落合専務理事、フェザン工藤店長、岩手県立大学高嶋教授、当県本部管理部三浦次長、花き資材課職員2人が審査員として審査を行いました。厳選な審査から「最優秀賞(JA全農いわて賞)」「あぐラボ賞」「フェザン賞」「優秀賞」がそれぞれ選ばれました。「最優秀

賞」の企画は今後の施策として実際にカタチにできるように検討していきます。

岩手県本部は、こうした取り組みを通じ「地域社会の一員として、根を張る」活動を強化していきます。



購買店舗新規出店、充実し 農家、地域住民のよりどころ

JA南アルプス市は山梨県の西部に位置する南アルプス市を管内とするJAです。南アルプスを望む自然豊かな環境で、サクランボや桃、スモモ、ブドウなどの果樹栽培が盛んな地域です。

拠点型購買店舗で組合員の営農サポート

JA南アルプス市は平成



拠点型購買店舗アグリガーデン南部店(上)とオープン初日のにぎわい

30年4月1日、拠点型購買店舗「アグリガーデン南部店」をオープンしました。200平方メートルを超える売場に、生産資材のほか園芸資材、生活資材などアイテムを増やし仕入れ価格を抑えて販売しています。年中無休を基本とし、営業時間を夜7時まで延ばすなど、既存の「アグリガーデン北部

店」と共に、組合員の要望に応える体制作りを心掛けました。

現在この2店を含めて13の購買店舗があり、農薬の主力20品目の価格の引き下げや、肥料・農薬の購入に合わせた年1回の還元金の実施などに取り組んでいます。将来的には配送業務を集約し効率化することにより、



2店舗では今年の7月からスマホ決済アプリ「PayPay」を導入し、スムーズな支払いで集客力アップを見込んでいます。

A-COOP甲西店(上)と産直コーナー

A-COOP白根店(上)と産直コーナー

JA南アルプス市 (山梨県)



概要	令和2年1月31日現在
正組合員数	6128人
准組合員数	4028人
職員数	362人
販売品取扱高	46億4千万円
購買品取扱高	65億8千万円
貯金残高	871億6千万円
長期共済保有高	4032億5千万円
主な農畜産物	桃、スモモ、サクランボ、ブドウ、柿、キウイフルーツ、キュウリ、トマト

組合員の増収、利便性向上を目指しています。

A-COOP店に産直コーナー
地域住民や生産者から好評

また、地域住民から高い人気を誇るA-COOP白根店・甲西店では、地産地消の推進を目的に、組合員が農作物を直接販売する産地直売コーナーを入り口付近

で展開しています。消費者は新鮮な野菜や果物がお得に購入できるため、開店直後には大勢の人がコーナー前に集まります。組合員にとっても、作物が少量・多品目でも販売することが可能で、販売登録者数が年々増えて現在は約260人、売上高も年間約1億3000万円に上ります。

「スゴ盛」青森いきいきやさいセットを買って 県産品を当てよう!キャンペーン開催中

ご注文は
こちらから



青森県本部は、産地直送通販JAタウン「JA全農あおもりショップ」で「青森いきいきやさいセット」を購入し、レビューを投稿すると応募できるキャンペーンを、9月30日まで開催しています。

【青森県本部】

スゴ盛 青森いきいきやさいセットを
買って県産品を当てよう!
キャンペーン期間 7/25(土)~9/30(水) **キャンペーン**
①買って②レビューを投稿すると、抽選で月替わりプレゼントが当たる!
産地直送通販JAタウン「JA全農あおもりショップ」
青森いきいきやさいセット ¥3,300
(税込)
青森県の旬のやさいを厳選して、7種類以上で詰め合わせ



継続購入につなげようと3カ月連続の月替わり企画とし、新型コロナウイルスの影響で消費が低迷している日本酒・米・牛

肉をプレゼント商品としました。
「スゴ盛」とは、「すごい盛」と「巣ごもり」を掛け合わせたもの。3カ月連続のプレゼ

ントで「スゴ盛」感を出すことに加え、「巣ごもり」が続く中、県産野菜を食べて楽しんでほしいというメッセージを込めています。

SNSを活用し岡山県産 農畜産物消費拡大キャンペーンを展開

ホームページは
こちらから



岡山県本部は、新型コロナウイルスの影響でイベントが実施できない中、インスタグラムなどのSNSを活用したキャンペーンを9月30日まで実施しています。 【岡山県本部】

第1弾として、牛肉と花きのキャンペーンを岡山県花き消費拡大実行委員会と協同で実施しています。和牛肉を食べて、お花を飾って、生産者を応援してほしいという期待を込めています。抽選で合計90人に「おかやま和牛肉」または「アレンジメントフラワー」をプレゼントします。

第2弾として、白桃・ぶどうのプレゼントキャンペーンを実施しています。例年、

店頭などで試食販売を行っていましたが、集客イベントなどが実施できないため、SNSで県産果実の「映える」画像を多くのユーザーに拡散していただき、消費拡大につなげるとともに、投稿者には抽選で計150名様に旬の岡山県産白桃やぶどうをプレゼントします。

応募方法など、詳しくはJA全農おかやまのホームページをご覧ください。

岡山の旬を味わおう
白桃♡ぶどう
プレゼントキャンペーン
#岡山の旬を味わおう
#岡山白桃ぶどうプレゼント2020
応募期間
1回目: 7月7日(火)~7月31日(金)
2回目: 8月1日(土)~8月31日(月)
3回目: 9月1日(火)~9月30日(水)
岡山県産白桃・ぶどうを
各回50名様に、合計150名様にプレゼント!
旬の時期に採れた美味しい品種をお届け! 旬が長くはかばかお楽しみ!

JA全農のインターネットショッピングモール JAタウン ショップ紹介

正直やまぐち (JA全農中四国営農資材事業所 山口推進課)

山口県周南市須金の、梨の王様「二十世紀梨」が、今年も実りの季節を迎えます。

周南市の北部、山間の美しい景色に囲まれた自然豊かな須金で、農家の方々が愛情を込めて、一つ一つ大切に育てました。

甘さと酸味のバランスが絶妙で、シャキシャキとした歯ごたえとジューシーな食感を堪能することができます。果汁たっぷりの二十世紀梨を、ぜひお楽しみください。

須金梨

果汁たっぷり 梨の王様「二十世紀梨」
須金なし 約5Kg 10~16玉……
5920円

ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは shop@ja-town1.com